

平成30年4月15日執行

朝倉市長選挙公報

朝倉市選挙管理委員会

あさくら復興 災害対策を加速する

平成24年そして平成29年、近年の豪雨は、従来の想定範囲を超える規模で、かつ多発化しています。災害に強い安全・安心な朝倉市を目指し、災害対策を強力に実行します。
特に平成29年7月九州北部豪雨による被災地・被災者とともに、復旧・復興を加速し、全力を注ぎます。

健全あさくら 健全財政を守り抜く

平成18年の市町村合併後、有事に備え、財政調整基金(市の貯金)として43億円が積み立てられていました。しかし、来てはならない有事が平成29年7月九州北部豪雨という形で襲い、その基金は枯渇に近い状況となりました。今までの事業計画を大幅に見直し、災害復旧を最優先するとともに、朝倉市の健全財政を守り抜きます。

あさくら創生 地方創生で切り拓く

市民経済を活性化するためには、地方創生を前進させなければなりません。人口減少・少子高齢化と向き合うため、観光振興などによる交流人口を増加させ、産学官連携を進めながら、農林業、商工業など市民経済の活性化、企業誘致等地域雇用の創出に取り組めます。

ふるさと朝倉 人を育み、まちを育む

- ①子育てしやすいまちづくり…保育料・学校給食費の軽減
- ②子育て世代包括支援センターの設置
- ③学校教育の充実
- ④NPOやボランティアとの協働推進
- ⑤コミュニティの育成促進
- ⑥公共交通の再検討
- ⑦生活習慣病対策・健診の充実・健康づくり市民運動
- ⑧介護施策の充実

はやし裕二の略歴

| | | | |
|-------|------------------|----------------|--------------|
| 昭和25年 | 6月16日生まれ 67歳 | 平成3年4月 | 福岡県議会議員 初当選 |
| | 比良松中学校 朝倉高等学校を経て | 平成22年5月 | 第72代福岡県議会副議長 |
| 昭和53年 | 九州大学教育学部を卒業 | 平成11年、13年、14年 | 朝倉高等学校PTA会長 |
| 昭和55年 | 青梅保育園 園長 | 平成20年11月～30年3月 | 福岡県農政連 委員長 |



はやし裕二

美しい朝倉再び

大型事業を見直しその財源を復旧復興・地域振興対策に!!

プロフィール

昭和22年、朝倉市に生まれる。朝倉高校を経て、早稲田大学に入学。雄弁会幹事長となる。法学部卒業後、裁判所職員上級試験甲種合格、福岡地裁に入所。市民のための政治をこころざし退職。実藤文化サークルを設立。
昭和54年、31歳の最年少で甘木市議会議員に当選。
平成4年カナダに留学。州立プリティッシュ・コロンビア大学で研究生として2年間社会政策(比較福祉論)を学ぶ。
ヨーロッパ・カナダ・スカンジナビア3国等、世界31か国を歴訪。帰国後、実藤現代社会研究所を設立。朝倉市議会議員7期。

・東京から来た私たちに連絡所を設置し宿泊所を提供してもらい、これまでも今も市内外のボランティアが実藤さん宅の連絡所に集まり被災地で活動しています。ボランティアがもっと多く参加し、活動しやすくなるように頑張っています。(東京から来た五十五歳 男性)

・実藤さんは八年前に知り合いました。これから朝倉市の人口が減少し、市の財政が厳しくなっていくお話を聞き朝倉市の未来、老いも若きも住みよい「あさくら」を託すにはこの人しかないかと確信しました。高齢者や子供、孫たちのために頑張ってください!(杷木六十七歳 男性)

・豪雨災害後、私たち被災者の元へいち早く駆けつけてくださった実藤さん。猛暑の中、家の片づけに萎えかけた時、励まして頂いた御恩は決して忘れません。今後も被災地や被災者のために復旧・復興よろしくお願いたします。(杷木六十七歳 男性)

- 朝倉支所に農林業・商工業の「総合戦略研究機関」を設置
- 水の文化村を日本一のアニメの里に!
- 乳幼児・就学前児童、医療費無料
- 小中高生の一部助成拡大。保育料、給食費の軽減
- 杷木支所内に復興ミュージアムを復興拠点に

みなさんの励ましの声



さねふじ輝夫
てるお

投票日 4月15日(日)

時間 午前7時から午後8時まで (黒川・佐田は午後7時まで)

みんなで投票、みんなで参加、
あなたの一票大切に。



朝倉市議会議員補欠選挙においては無投票となりました。